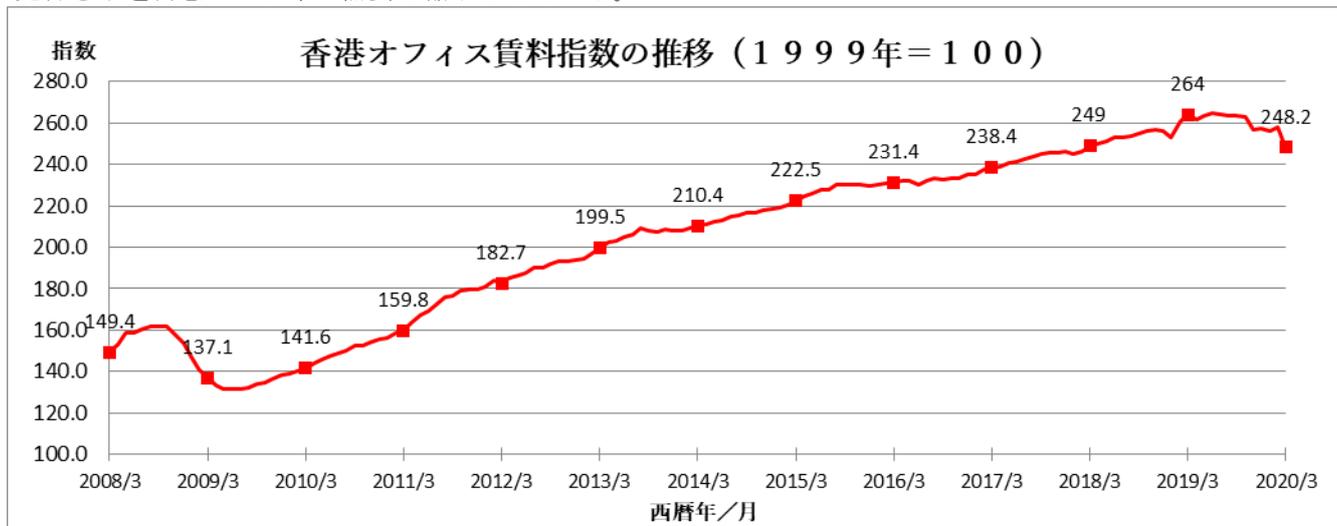


【香港駐在員事務所／香港】

「香港オフィス賃料の動向」について

香港政府が最新のオフィス賃料指数や賃料水準を発表。2020年3月のオフィス賃料指数は248.2となった。2008年のリーマンショックによる調整以来、賃料指数は僅か10年の間に約2倍となったが、米中貿易摩擦により2019年6月（賃料指数：265.1）にピークアウト。更には抗議活動による社会的混乱やCovid-19による経済の先行き不透明感がオフィス需要を縮小させている。

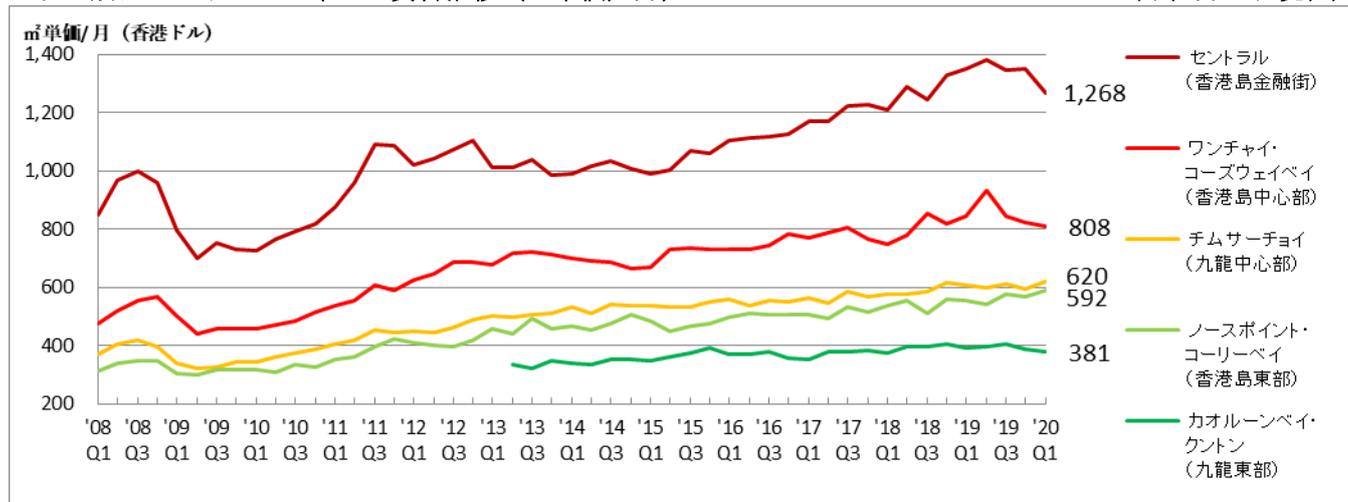


※2019年10月からは暫定値

セントラル地区とワンチャイ地区のオフィス賃料は2019年第2四半期のピークから、それぞれ約8.2%と約13.4%下落。個別の物件では大幅な賃料下落も見られ、新聞記事によるとオフィスビル「皇后大道中9号」の約210㎡の物件が約130,000香港ドル/月で賃貸契約が交わされ、一平米あたりの賃料は5年前の水準に下落。また「リッポー・センター」の約300㎡の物件では3年前の賃料水準まで落ち込んでいる。

エリア別グレードAオフィスの賃料推移 (㎡単価/月)

1HKD=13.90円(6月1日現在)



【出所：香港政府 Rating and Valuation Department、新聞記事】

照会先：国際事業部 (東京)電話 03-6704-2709
(大阪)電話 06-6268-6357

当資料は海外進出をされている日系企業のお客さまのために、信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいようお願い致します。 * 禁無断転載